

令和 3 年度 (2021) 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名	和文：低温レーザー干渉計 CLIO による重力波研究 (V)	
	英文：Study of Gravitational-wave by cryogenic laser interferometer CLIO in KAMIOKA Mine (V)	
研究代表者	大橋正健	
参加研究者	宇宙線研究所	田越秀行、三代木伸二、内山隆、宮川治、山本尚弘、 押野翔一、戸村友宣、早河秀章、上泉眞裕、古田清司、
	東大地震研究所	新谷昌人
	国立天文台	麻生洋一、高橋竜太郎
	産業総合研究所	寺田聡一
	富山大学	山元一広
	東京都市大学	高橋弘毅
研究成果概要	<p>令和 3 年度は、低温レーザー干渉計 CLIO を運転可能な状況に復帰させるための作業を継続した。具体的には、温湿度環境の維持を開始し、実験室内部の片付けと清掃作業による環境整備を行った。</p> <p>以上の取り組みにより、CLIO 実験室内で光学系の作業が始められるようにしつつある。将来的には、KAGRA の高度化作業に向けた光学実験を可能としたい。</p>	
整理番号	G02	